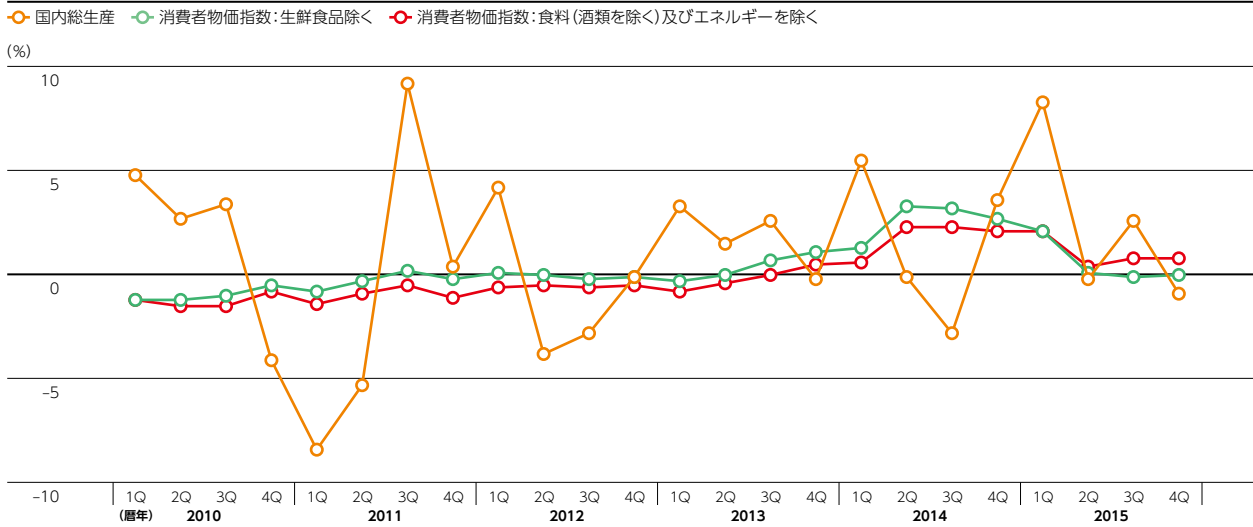


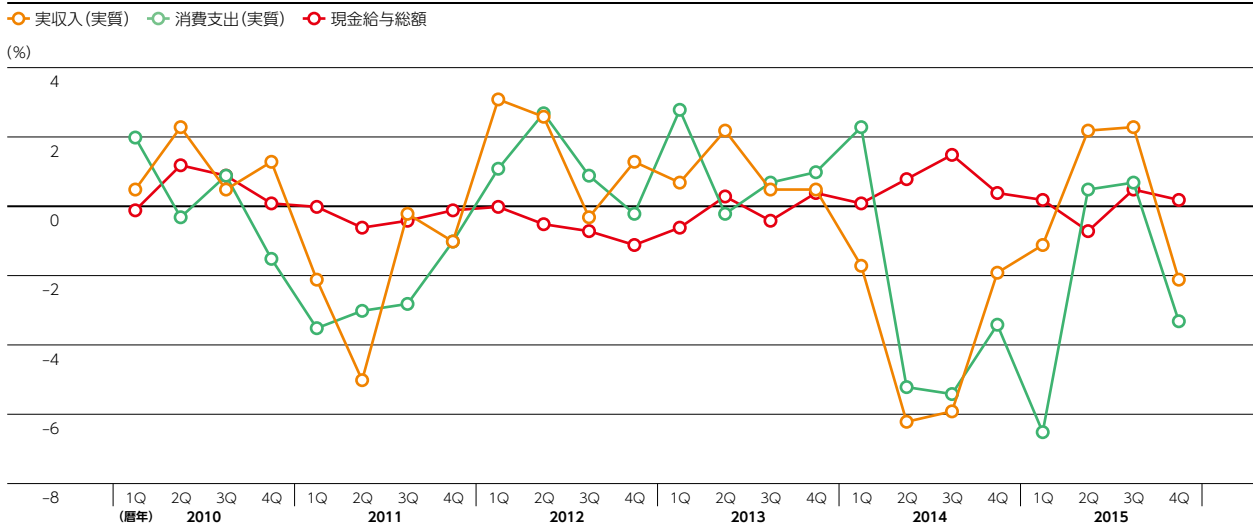
## 消費環境

### 景気指標の前年同期比の推移(四半期)



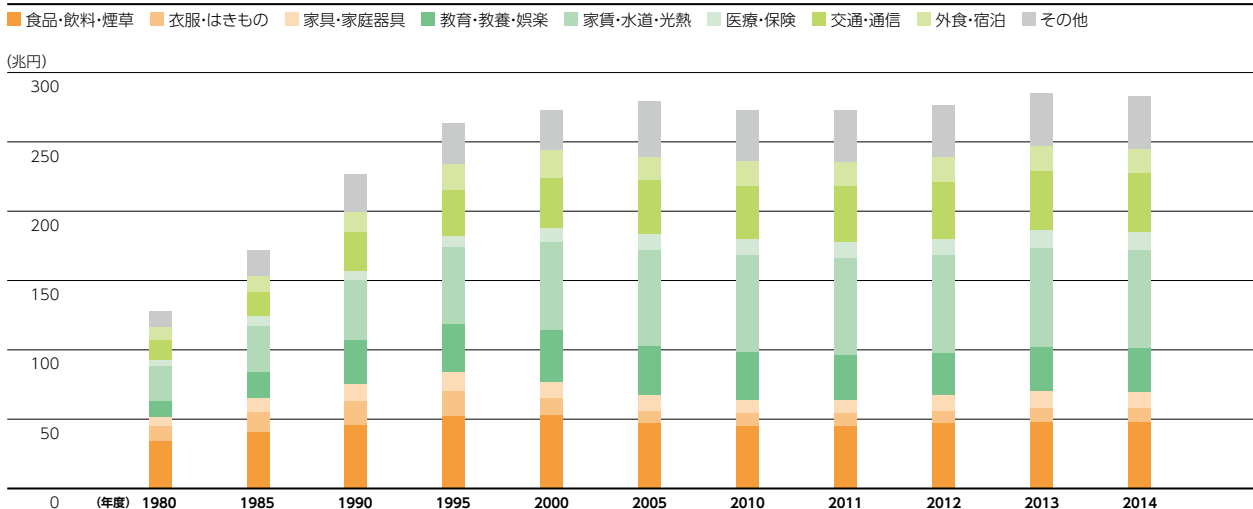
出典:内閣府「国民経済計算(SNA)」、総務省統計局「消費者物価指数」

### 家計消費指標の前年同期比の推移(四半期)



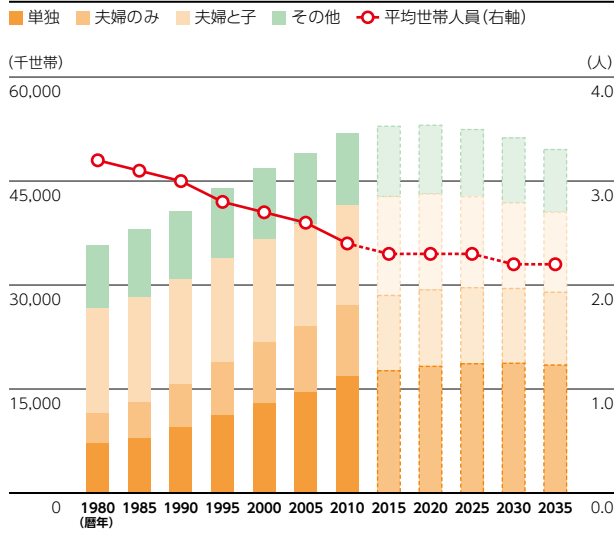
出典:総務省統計局「家計調査」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」

### 家計最終消費支出



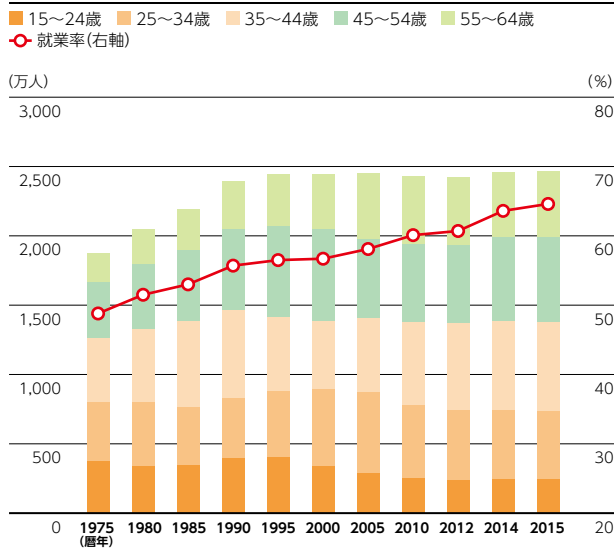
(注) 2000年以前は旧基準の数値  
出典:内閣府「国民経済計算(SNA)」

### 世帯数の将来推計



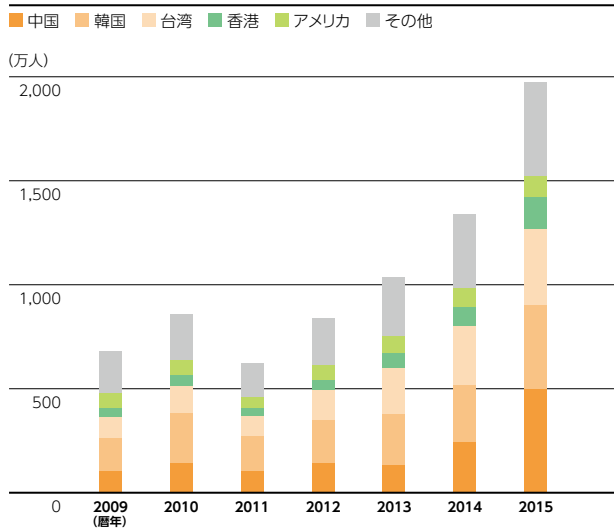
出典: 国立社会保障・人口問題研究所

### 女性の就業者数及び就業率



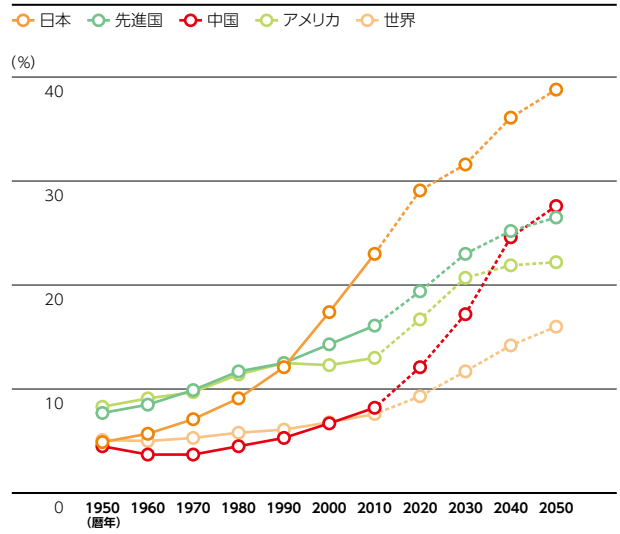
出典: 総務省「労働力調査」

### 訪日外国人客数



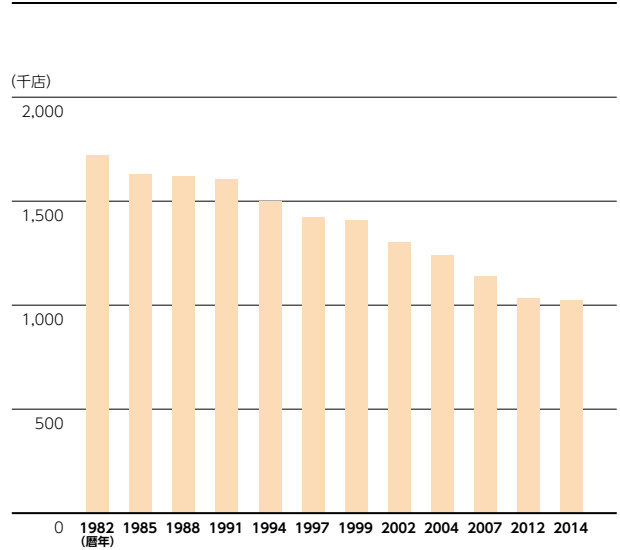
出典: 日本政府観光局 (JNTO)

### 65歳以上の人口構成の推移



出典: 総務省統計局「世界の統計」

### 小売店舗数の推移



出典: 経済産業省「商業統計」

プロフィール

業績概要

世界の  
小売業データ

国内の  
小売環境

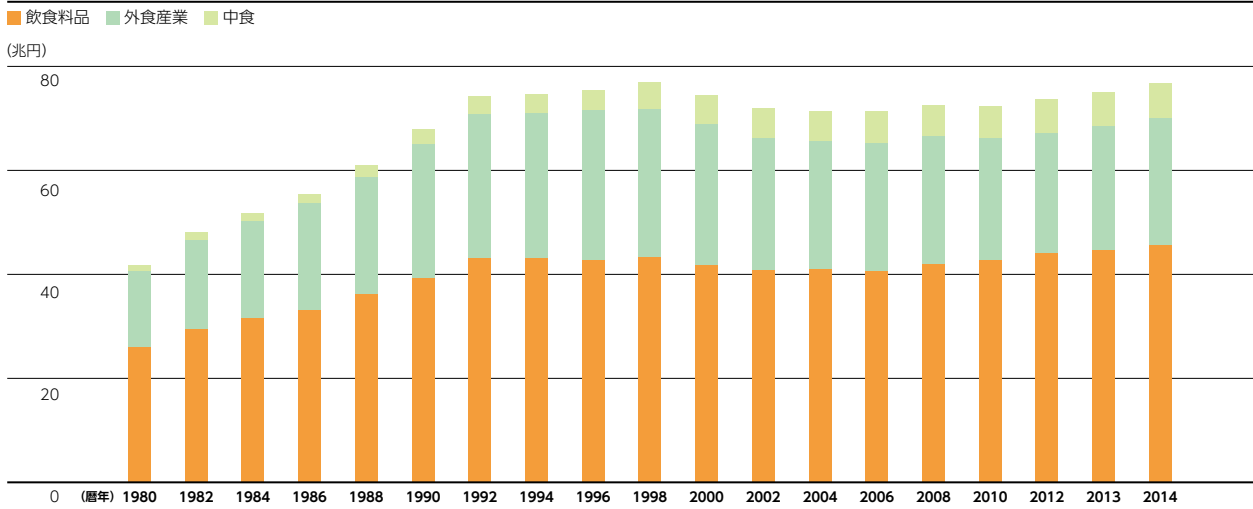
グループ  
事業戦略

主要事業  
会社の  
営業データ

会社データ

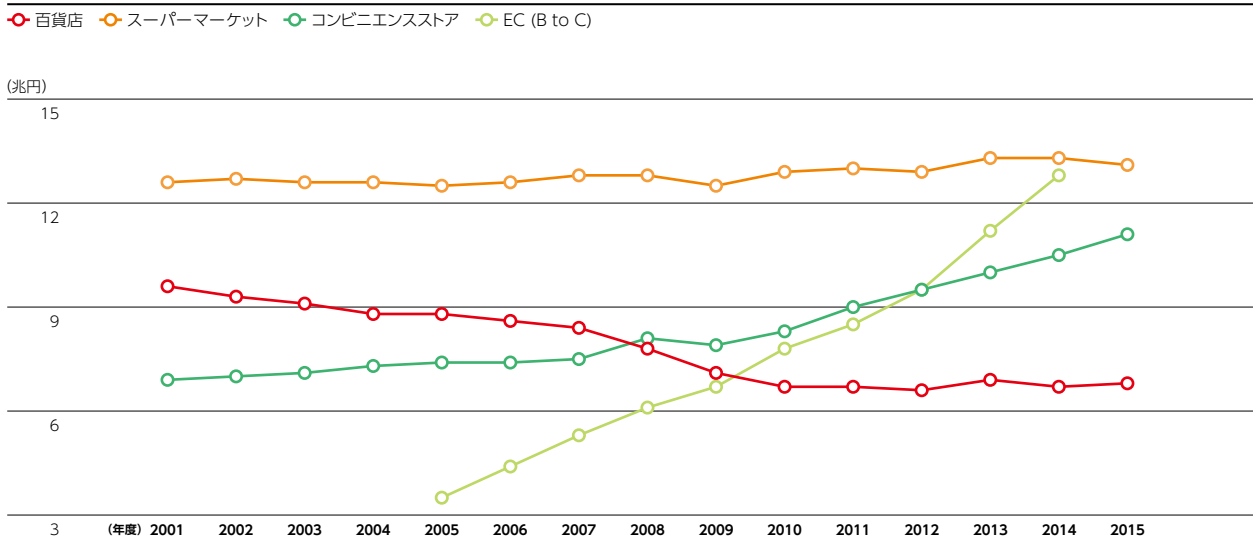
# 小売業の動向

## 食品市場規模の推移



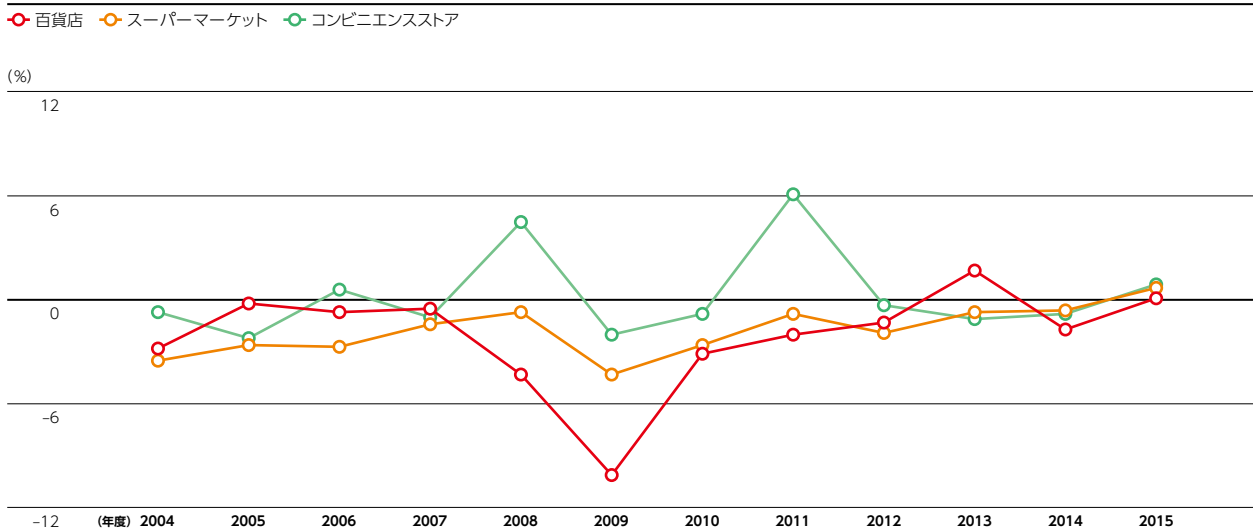
出典：経済産業省「商業動態統計調査」、外食産業総合調査研究センター

## 主要業態別の売上高の推移



出典：経済産業省「商業動態統計調査」「電子商取引に関する市場調査」

## 主要業態別の既存店売上伸び率の推移



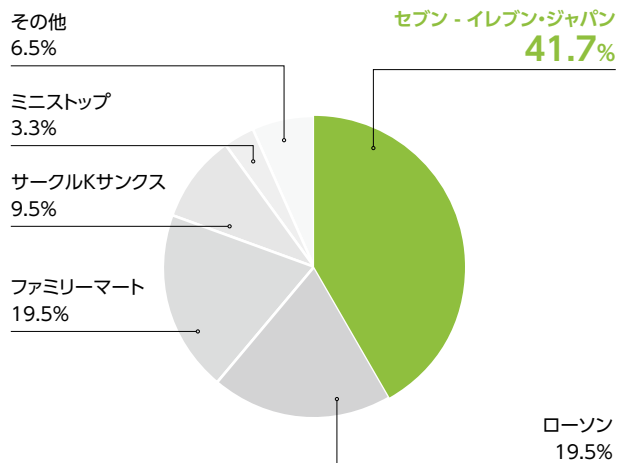
出典：日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、日本フランチャイズチェーン協会

## グループ主要事業会社のマーケットシェア(単体)

### コンビニエンスストアにおけるチェーン全店売上トップ5

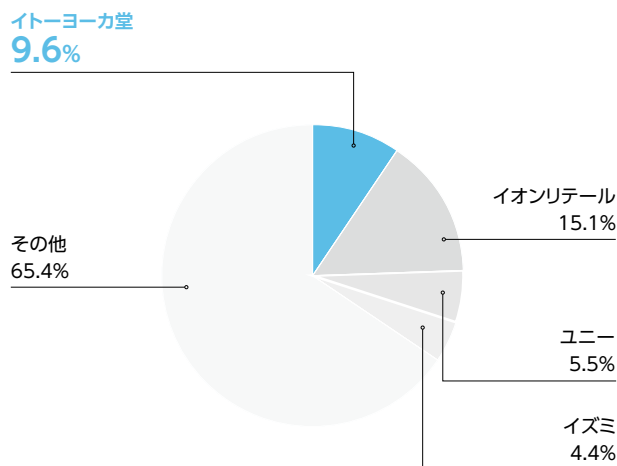
	2015年度 (億円)	構成比 (%)
コンビニエンスストア合計*1	102,810	100.0
1 セブン-イレブン・ジャパン	42,910	41.7
2 ローソン*2	20,061	19.5
3 ファミリーマート	20,055	19.5
4 サークルKサンクス*2	9,745	9.5
5 ミニストップ	3,363	3.3
その他	6,674	6.5
上位5社合計	96,136	93.5

\*1 コンビニエンスストア合計のチェーン全店売上は「コンビニエンスストア統計調査月報」における2015年3月から2016年2月までの全店ベース店舗売上高の単純合算値  
\*2 ローソン及びサークルKサンクスのチェーン全店売上は、各社の単体売上と国内連結子会社コンビニエンスストア事業の単純合算値



### スーパーストアにおける売上高トップ4

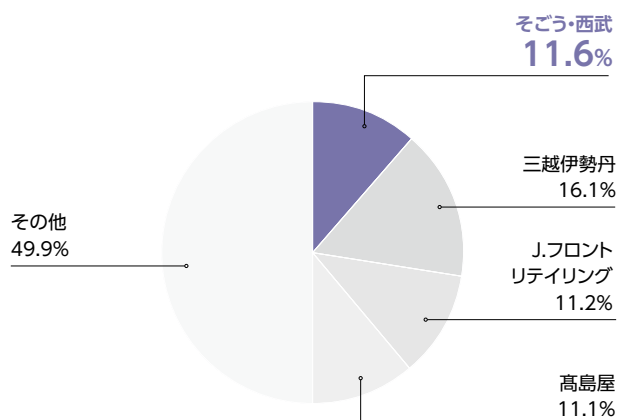
	2015年度 (億円)	構成比 (%)
スーパーストア合計	131,473	100.0
1 イオンリテール	19,905	15.1
2 イトーヨーカ堂	12,556	9.6
3 ユニー	7,169	5.5
4 イズミ	5,805	4.4
その他	86,036	65.4
上位4社合計	45,436	34.6
(参考)		
ヨークベニマル	4,062	3.1
ヨークマート	1,401	1.1



### 百貨店における売上高トップ4

	2015年度 (億円)	構成比 (%)
百貨店合計	67,922	100.0
1 三越伊勢丹	10,944	16.1
2 そごう・西武	7,907	11.6
3 J.フロント リテイリング	7,632	11.2
4 高島屋	7,550	11.1
その他	33,888	49.9
上位4社合計	34,034	50.1

(注) 三越伊勢丹、J.フロント リテイリング及び高島屋の売上高は各社の国内百貨店業子会社の単純合算値



出典: 経済産業省「商業動態統計調査」、日本フランチャイズチェーン協会「コンビニエンスストア統計調査月報」、各社発表資料

プロフィール

業績概要

世界の  
小売業データ

国内の  
小売環境

グループ  
事業戦略

主要事業  
会社の  
営業データ

会社データ